

2010年11月～2011年2月

11月

11日 米国運輸省から独占禁止法適用除外認可
当社とユナイテッド航空、コンチネンタル航空は、太平洋間ネットワークに関する戦略的提携について米国運輸省より独占禁止法適用除外 (ATI) 認可を受けました (日本の国土交通省からは2010年10月22日認可)。2011年4月からの太平洋路線での共同事業「Pacific Joint Venture」開始に先駆け、1月27日には共同事業開始記念運賃「ANA/ユナイテッド/コンチネンタル パシフィックスペシャル」の販売を開始しました。



11日 アビアンカ・タカ航空、コパ航空がスターアライアンス加盟方針を発表
2社の2012年の正式加盟後には、中央アメリカ、カリブ海、南アメリカ北西部の路線網が大幅に拡充予定です。



29日 百貨店初、カード会員向け相互利用サービスの業務提携に合意
当社とエイチ・ツー・オー リテイリングは、AMCカードが顧客ポイントカードとして利用できるようにするなど、両社グループのカード会員向けサービスの拡充を図り、新たな顧客層の拡大やメイン顧客のロイヤルティ向上に努めていきます。

ANA
ANAカード
(クレジット機能付き)
200万会員

AMCカード
(非クレジット)
1,800万会員

阪急阪神百貨店
ベルソナカード
(クレジット機能付き)
70万会員

エメラルド
STACIAカード
(クレジット機能付き)
40万会員

博多阪急
エメラルドカード
(クレジット機能付き)

12月

26日 アニュアルレポートが優秀賞受賞
日本企業が投資家向けに発行するアニュアルレポート (年次報告書) の中から、特に優れたものを表彰する「第13回日経アニュアルレポートアワード2010」で、優秀賞を受賞しました。



詳細は、[ANA](#) [検索](#) → 「プレスリリース」または「ANAわかりやすいニュース配信」でもご覧になれます。

2011年1月

7日 成田ージャカルタ線運航再開
(11～12ページ「ちょっぴり旅ぶらす」に関連記事掲載)
成田・羽田ーシンガポール線 (一部) と成田ージャカルタ線※には、ビジネスクラスの新シート「ANA BUSINESS CRADLE」を搭載した新造機・ボーイング767-300ER型機が運航中。シート全体をしっかりとサポートし、ゆりかご (CRADLE) に身を委ねているような心地よくつろぎ感を追求しました。
※運航する機材や座席仕様などは予告なく変更となる場合があります。



11日 ANAのfacebook日本語公式ファンページをオープン
ソーシャルサイト「facebook」に日本語公式ファンページをオープンしました。すでに展開している英語公式ファンページとともに、グローバルマーケットでの双方向コミュニケーションの強化を目指します。



●公式ファンページ
日本語 <http://www.facebook.com/ana.japan>
英語 <http://www.facebook.com/flyworld.ana>

31日 2011年3月期第3四半期の決算を発表
(詳細は2～4ページに掲載)

2月

10日 LCC新会社設立
2月1日、関西国際空港を拠点としたLCC (ローコストキャリア) に関する当社と香港のファーストイースタン・インベストメントグループ (代表、ヴィクター・チュー氏) との共同事業についての株主間協定が締結され、2月10日に新会社が設立されました。

新会社の概要
会社名: A&F・Aviation株式会社
本店所在地: 東京都港区東新橋1-5-2
事業内容: 航空運送事業 (国内線・国際線)
出資額: 当社1,005万円、First Eastern Aviation Holdings Limited (香港法人) 1,000万円、その他1,000万円。なお、就航前までに国内投資家からの出資を募り、最大で約150億円まで増資を予定
代表者: 代表取締役CEO 井上慎一氏

2月27日より成田ーマニラ線の運航開始

成田ーマニラ線の運航開始により、ANAの東南アジアネットワークは、成田ーバンコク、シンガポール、ホーチミンシティ、ジャカルタの4路線、羽田ーバンコク、シンガポールの2路線と合わせて、7路線に拡大!

NH949	成田発	17:55	マニラ着	21:55
NH950	マニラ発	09:50	成田着	14:55

※運航開始日 成田発 2月27日、マニラ発 2月28日
※使用機材 ボーイング767-300ER ※これらは関係当局の認可を前提としております。

2012年3月期 (2011年度) ANAグループ航空輸送事業計画を策定 (1月18日に発表)

■概要
国際線: 6月に成田ー成都線を開設。中国・アジア路線を強化するほか、太平洋路線ではユナイテッド航空、コンチネンタル航空との共同事業を4月に開始します。(生産量 (座席キロ) は前期比117%を計画)

■路線便数計画 (以下の計画は関係当局の認可を前提としております。)

区分	期日	路線	便数・機種
開設	6/19	成田ー成都	7往復/週、B737-700
再開	2011/3/27	中部ー上海 (浦東)	7往復/週、B737-700※1
増便	2011/3/27	成田ー瀋陽	3～7往復/週、B737-700・A320-200→7往復/週、B737-700※2
	調整中	羽田ー北京	7往復/週、B777-200ER→14往復/週※3
	調整中	羽田ー上海 (虹橋)	7往復/週、B777-200ER→14往復/週※3
機種変更	2011/3/27	成田ー北京	14往復/週、A320-200→7往復/週、A320-200、7往復/週、B767-300ER
	5/1	成田ー台北 (桃園)	7往復/週、A320-200→B767-300ER

※1 2011年冬ダイヤの運航については今後調整
※2 2010年10月31日～2011年1月31日のみA320-200が3往復/週運航
2011年冬ダイヤの運航については今後調整
※3 日中航空交渉の合意を前提

区分	期日	路線	便数・機種
増便	2011/3/27	成田ー上海 (浦東)	4～6往復/週→通年6往復/週

新規導入	退 役
ボーイング767-300ER 4機	ボーイング767-300 1機
ボーイング737-800 2機	エアバスA320-200 4機
ボンバルディアDHC8-Q400 3機	ボーイング737-500 2機
	ボンバルディアDHC8-Q300 2機
計 9機	計 9機

(注) ボーイング787については調整中。同型機導入のスケジュールによっては、他機種も含めた導入・退役計画の見直しの可能性があります。

国内線: 羽田発着路線の拡充を進めます。また、利便性の向上に努めつつ、競合他社の動向、九州新幹線の全通に対応します。(生産量 (座席キロ) は前期比103%を計画)
貨物: 貨物専用機による深夜帯の沖縄貨物ハブの安定運用と、昼間帯の中国・アジア路線を強化します。(貨物専用便の生産量 (有効トンキロ) は前期比103%を計画)

区分	期日	路線	便数・機種
	2011/3/27※4	羽田ー伊丹	14往復/日→15往復/日
		羽田ー関西	4往復/日→5往復/日
		羽田ー神戸	2往復/日→3往復/日
		羽田ー千歳	15往復/日→16往復/日
		羽田ー沖縄	9往復/日→10往復/日
		羽田ー函館	2往復/日→3往復/日
		羽田ー庄内	4往復/日→4往復/日、5往復/日 (4月、5月、10月)
増便	4/1	伊丹ー熊本	4往復/日→5往復/日
	7/1	伊丹ー仙台	5往復/日→7往復/日
		伊丹ー新潟	4往復/日→5往復/日
	2011/3/27	関西ー千歳	4～5往復/日→6往復/日
		関西ー沖縄	4往復/日→5往復/日
		中部ー千歳	7～8往復/日→通年8往復/日
		中部ー秋田	1～2往復/日→通年2往復/日
		中部ー松山	2～3往復/日→通年3往復/日
		中部ー熊本	2往復/日→3往復/日
		福岡ー沖縄	8～9往復/日→通年9往復/日
	6/1	千歳ー女満別	2往復/日→3往復/日
再開	2011/3/27	松山ー千歳	1往復/日※5
	6/1	関西ー女満別	1往復/日、6～9月運航→6～10月運航
運航期間延長	5/1	関西ー旭川	1往復/日、6～9月運航→5～10月運航
	6/1	関西ー函館	1～2往復/日、6～9月のみ2往復/日→6～10月のみ2往復/日
運航期間短縮	7/15	福岡ー石垣	1往復/日、GW期間、7～10月のみ運航→7/15～8/31のみ運航
	2011/3/27	千歳ー利尻	1往復/日、通年運航→9/30まで運航※6
減便	2011/3/27	伊丹ー松山	12往復/日→11往復/日
	7/1	中部ー仙台	5往復/日→4往復/日 IBEXとコードシェア予定※7
休止	7/1	中部ー大分	2往復/日→休止 IBEXとコードシェア予定※8
減便	6/1	千歳ー函館	5往復/日→3往復/日

※4 日中航空交渉合意までの発着枠の暫定使用による増便が含まれているため、同交渉の状況に応じ、期中において変更となる場合あり ※5 2011年冬ダイヤの運航については今後調整
※6 2012年度は6月から再開 (季節運航) 予定 ※7 コードシェア便を合わせた便数は6往復/日の予定 ※8 コードシェア便を合わせた便数は現行通りの予定